

**千葉機関区廃止・派出化粉碎！ 鴨川派出廃止阻止！
久留里線廃線計画撤回！ 抜本的な安全対策を！**

動労千葉2波のスト方針

**第1波・ダイ改時3・14-15
第2波・千葉機関区の派出化移行段階（3/31-4/1）スト**



動労千葉は3月ダイ改阻止・25春闘勝利へ、2波のストを構えて闘う方針を決定しました。

安全崩壊・不正続発

JR東は「IT企業」化を掲げて鉄道部門を二の次とする施策を進めています。その中で事故多発・安全崩壊が進んでいます。

今月6日、東北新幹線が走行中に「はやぶさ」と「こまち」の連結部分が再び外れました。昨年9月にも同じことが起きたばかりで繰り返されたことは本当に重大な事態です。

この間、

レール破断も相次ぎ、輪軸組立て不正、モーターの検査不正、AT-SIPの設計誤りなど安全上の重大な問題が相次いでいます。

また、アトレではテナント企業に一方的に負担を強いたことで独禁法違反の疑いで警告を受ける事態になっています。JR東が現場に負担と矛盾を押し付け、グループ会社には「下請けたたき」をやる姿そのものです。

労働組合の闘いを

問題の根本は、業務融合化や外注化など、鉄道業務とそこで働く仲間をないがしろにする施策です。「企業の利益を生み出すことだけが創造的」となれば、鉄道の安全と技術継承が破壊されるのは当然です。

しかし、3月ダイ改では、鴨川検査派出の廃止、特急の車掌1人乗務化、ワンマン運転拡大など、こうした施策をさらに進めようとしています。鉄道の安全を守るためにも、労働者の権利を守るためにも、会社の好きにさせるわけにはいきません。職場からの声と、労働組合の闘いが必要です。

3月ダイ改阻止、大幅賃上げ獲得、久留里線廃線計画撤回に向けて、動労千葉とともに声を上げ、闘おう。